

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	Cry j 1 ELISA Kit <スギ花粉抗原Cry j 1 ELISA Kit>
製品コード	DS800
製品構成品名	Stop Solution
会社名	株式会社バイオダイナミクス研究所
住所	東京都文京区本郷2-9-7
電話番号	03-5803-9983
緊急時電話番号	03-5803-9983
FAX番号	03-5684-6270
推奨用途及び使用上の制限	研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	分類できない	
健康有害性	皮膚腐食性・刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分1
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1（呼吸器系）
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1（呼吸器系）
環境有害性	水生環境慢性有害性	区分2

注) 上記の GHS 分類で区分の記載がない危険有害性項目については、「分類対象外」、「区分外」、または「分類できない」に該当する。健康有害性については後述の 11 項を参照。

ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：	危険
危険有害性情報：	H314: 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷 H318: 重篤な眼の損傷 H370: 臓器の障害（呼吸器系） H372: 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（呼吸器系） H410: 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き：

【安全対策】

- P260: 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 P264: 取扱い後は手をよく洗うこと。
 P270: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 P273: 環境への放出を避けること。
 P280: 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急措置】

- P301+P330+P331: 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。ただちに医師に連絡すること。
 P303+P361+P353: 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。ただちに医師に連絡すること。
 P304+P340: 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。ただちに医師に連絡すること。
 P305+P351+P338: 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。
 P308+P311: 暴露又は暴露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
 P314: 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。
 P363: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
 P391: 漏出物を回収すること。

【保管】

- P405: 施錠して保管すること。

【廃棄】

- P501: 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

製品構成品名：	Stop Solution
単一製品・混合物の区別：	化学物質（水溶液）
化学名又は一般名：	1N硫酸 (Sulfuric acid)
分子量：	98.07848
化学特性（化学式）：	H ₂ SO ₄
CAS番号：	7664-93-9
官報公示整理番号（化審法）：	(1)-430
官報公示整理番号（安衛法）：	公表
分類に寄与する不純物及び安定化添加物：	なし
濃度又は濃度範囲：	4.8%

4. 応急措置

- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。呼吸が弱かったり止まっている場合は、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。必要に応じて医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合： 汚染された衣類や靴などをすべて取り除く。直ちに多量の水で洗い流す。速やかに医師の処置を受ける。

- 眼に入った場合： 直ちに水で最低15分間洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。できるだけ速やかに医師の処置を受ける。
寸秒でも早く洗眼を始め、 入った物質を完全に洗い流す必要がある。洗眼を始めるのが遅れると障害を増大させるおそれがある。
- 飲み込んだ場合： 直ちに医師に連絡する。吐かせてはならない。水で口の中を洗浄する。
- 急性症状及び遅発性症状
の最も重要な徴候症状： データなし
- 応急措置をする者の保護
に必要な注意事項： ゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
- 医師に対する特別な注意
事項： 物質へのばく露の影響が遅れて現れることがある。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤： この製品自体は燃焼しない。周辺の状況に適した消火剤を使用する。
- 使ってはならない消火剤： 特になし
- 特有の危険有害性： 火災の際、熱分解又は燃焼により刺激性及び/又は有害性の強いガスが発生するおそれがある。
消火水や希釈水は有毒及び/又は腐食性があり汚染を引き起こすおそれがある。
- 特有の消火方法： 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。消火作業は、風上から行う。
- 消火を行う者の特別な
保護具及び予防措置： 消火作業の際は、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： 関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用する。
- 環境に対する注意事項： この物質を環境中に放出してはならない。
- 封じ込め及び浄化の
方法・機材： 少量の場合、乾燥砂、土、適切な吸収剤などに吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
- 二次災害の防止策： 危険でなければ漏出源を遮断し、漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策： 容器に過度の衝撃を加える、転倒させる、落下させる、又は引きずるなどの粗暴な扱いをしない。
取り扱いは、密閉された装置、機械、又は局所排気装置を使用する。
眼、皮膚、衣類に付けない。
適切な保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項： みだりにエアロゾル、粉じんが発生しないように取扱う。
- 接触回避： 「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

- 技術的対策： 保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設定を設ける。
- 混触危険物質： 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 適切な保管条件： 直射日光を避け、なるべく涼しい場所に容器を密閉して保管する。
- 避けるべき保管条件： 混触危険物質から離して保管する。

安全な容器包装材料： ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン 等

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度： 設定されていない。

許容濃度（ばく露限界値、

生物学的ばく露指標）： 日本産業衛生学会 1 mg/m³ 最大許容濃度

ACGIH TWA 0.2 mg/m³ (T)

設備対策： 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置する。取り扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸器の保護具： 防毒マスク（酸性ガス用）

手の保護具： 不浸透性の手袋

目の保護具： 保護眼鏡または安全ゴーグル

皮膚及び身体の保護具： 不浸透性の保護具（前掛け、長靴、保護衣など）

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など： 液体、無色

臭い： 無臭

pH： <=1

融点・凝固点： データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲： データなし

可燃性： 不燃性

爆発下限界： 不燃性

爆発上限界： 不燃性

引火点： 不燃性

自然発火温度： 不燃性

分解温度： データなし

動粘性率： データなし

水に対する溶解度： 混和する

溶媒に対する溶解度： データなし

オクタノール/水分配係数： データなし

蒸気圧： 0.13 kPa (146°C)

密度及び/又は相対密度： 1.03 g/mL (20°C)

相対ガス密度： 3.4

粒子特性： データなし

その他のデータ： データなし

10. 安定性及び反応性

反応性： データなし

化学的安定性： 予期される通常の保管及び取扱いの条件において安定と考えられる。

危険有害反応可能性： 塩基性物質と接触すると反応する。

避けるべき条件： 日光、熱、混触危険物質との接触

混触危険物質： 還元性物質、可燃性物質、塩基性物質、金属類

危険有害な分解生成物(一酸化炭素、二酸化炭素及び水を除く)： 硫酸酸化物

11. 有害性情報

(この物質の、人の健康への影響に関するデータが不十分なので、最大の注意を払う必要がある。)

急性毒性(経口)：	濃硫酸としてラットLD50値：2,140 mg/kg 1N硫酸については、ガイダンスに従い加算式(=100×2140mg/kg÷濃度)により分類した。
(経皮)：	データなし
(吸入)：	濃硫酸としてラットLC50値：0.375 mg/L/4H 1N硫酸については、ガイダンスに従い加算式(=100×0.375mg/L÷濃度)により分類した。
皮膚腐食性・刺激性：	重篤な皮膚の葉傷・眼の損傷
眼に対する重篤な損傷・刺激性：	重篤な眼の損傷
呼吸器感作性：	データなし
皮膚感作性：	データなし
生殖細胞変異原性：	データなし
発がん性：	データなし
生殖毒性：	データなし
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)：	臓器の障害(呼吸器系)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)：	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害(呼吸器系)
誤えん有害性：	データなし
その他の情報：	データなし

1 2. 環境影響情報

(この物質の、自然環境への影響に関するデータが不十分なので、最大の注意を払う必要がある。)

生体毒性：	長期継続的影響により水生生物に毒性 濃硫酸として魚類(カダヤシ)NOEC/45D(pH6.0)0.025 mg/L、甲殻類(オオミジンコ)LC50/24H 29 mg/L 1N硫酸については、ガイダンスに従い加算式〔(毒性乗率10×区分1)+区分2≥25%〕により分類した。
残留性・分解性：	データなし
生体蓄積性：	データなし
土壌中の移動性：	データなし
オゾン層への有害性：	データなし
他の有害影響：	データなし

1 3. 廃棄上の注意

内容物や容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号(UN No.)：	2796
品名(国連輸送名)：	Sulphuric acid with 51% or less acid
国連分類：	8
国連分類(副次)：	該当しない
容器等級：	II
海洋汚染物質：	該当する

陸上規制情報： ADR/RIDの規定に従う
 海上規制情報： IMDGの規定に従う
 航空規制情報： ICAO/IATAの規定に従う
 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：
 運搬に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

国内規制

陸上規制情報： 該当しない
 海上規制情報： 船舶安全法の規定に従う
 航空規制情報： 航空法の規定に従う

1 5. 適用法令

(下記以外の法令については調査していません)

労働安全衛生法： 特定化学物質第3類物質 (施行令別表第3第3号、特定化学物質障害予防規則) 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条、施行令第18条) 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2) 腐食性液体 (労働安全衛生規則第326条)
 毒物及び劇物取締法： 該当しない
 化学物質排出把握管理促進法： 該当しない
 消防法： 該当しない
 化審法： 該当しない
 船舶安全法： 腐食性物質 (危規則第3条危険物告示別表第1)
 航空法： 腐食性物質 (施行規則第194条危険物告示別表第1)
 海洋汚染防止法： 有害液体物質 (Y類物質等) (施行令別表第1)
 麻薬及び向精神薬取締法： 該当しない
 覚せい剤取締法： 該当しない
 化学兵器禁止法： 該当しない

1 6. その他の情報

参考文献：
 国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版 HP
 The Merck Index 13th. Edition
 化学大辞典 共立出版社
 化学物質総合情報提供システム(CHIP) (独) 製品評価技術基盤機構) HP
 GHS モデルラベル・SDS 情報 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP
 安衛法名称公表化学物質等 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

その他

- ◎ 本データシートは情報を提供するもので、記載内容を保証するものではありません。
- ◎ ここに記載された内容は、知り得ることできた知見、情報に基づき作成されたものであり、よって危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので、取扱いには十分注意して下さい。